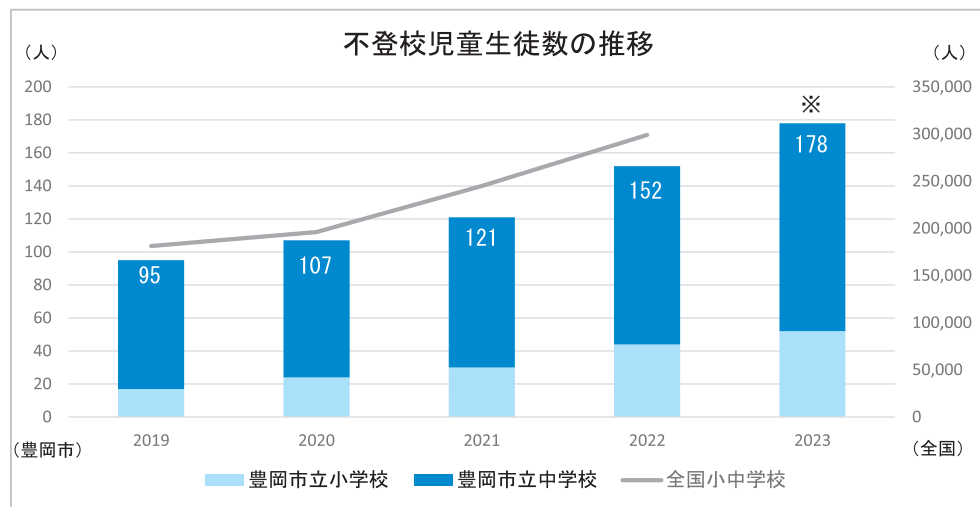


知ってください 不登校のこと、支えてください 子どもたちを

児童生徒や保護者を取り巻く環境の変化、不登校に対する社会の考え方の多様化などにより、不登校児童生徒数は、全国的に増加しています。豊岡市においても、2020年以降、4年連続で増加し続けており、教育の中心的な課題になっています。



※2023年度全国不登校児童生徒数は、2024年秋に公表予定

豊岡市不登校対策アクションプラン

不登校の未然防止と対応を組織的・計画的に行うために「学校」、「地域」、「支援関係機関」、「教育行政」の取組を定めた不登校対策アクションプランを2024年4月に改訂しました。

学校を
みんなが安心して学べる
場所にする



地域での
つながりと居場所づくり
を広げる

【テーマ】

豊岡市一丸となり、一人一人の多様なニーズに応じた
不登校対策を推進し、子どもの社会的自立を目指す

支援機関での
多様な学びの場を
確保する



教育行政が
ケースに応じた効果的な支援
を行う

学校をみんなが安心して学べる場所に

学校生活に不安を抱える子どもたちに安心できる場所を提供するため、子どもたちの多様な学びを支援するために、小・中学校では校内サポートルームの設置に取り組んでいます。

市立中学校全9校と小学校4校には、支援員の配置を順次進めています。



<子どもたちの声>

- 同級生がたくさんいると緊張してしまうけど、サポートルームでは安心できる。
- 自由に入出りできるし、静かなので落ち着く。
- 学習をするときに、しきりのような自分だけの空間があると、もっと安心ができる。
- 知らない人が入ってくると居づらくなってしまう。

<校長の声>

- 不登校担当教員・担任・学年職員・不登校指導補助員と共に、サポートルーム支援員が連携をとって、より柔軟に生徒に対応できるようになった。
- サポートルームでは体育的な活動をすることもありますが、中には一人で静かに勉強や読書をしたい生徒もおり、支援員が個別に寄り添い対応しているので、安心して登校できている。
- 支援員の勤務時間は1日4時間であるが、じっくり生徒と向かい合うためには、時間が短いような気がする。

『地域でのつながりと居場所づくり』

○地域行事などを通じた、地域と子どもとのつながり



○トライやる・ウィークの充実



○体験活動ができる場や人の提供

○見守りボランティアによる声かけ

子どもたちの社会的自立のために、学校・家庭・地域が力を合わせた取組、「豊岡市一丸」となった教育活動の展開をめざしています。

子どもたちのために、豊岡のみなさんの知恵や力を貸してください。